

横河電機株式会社

2018年3月期 決算説明会

取締役 常務執行役員 経営管理本部長
穴吹 淳一

2018年5月8日

目次

1. 経営成績 営業利益分析／海外売上高／貸借対照表

2. 業績予想

3. 研究開発費／減価償却費／設備投資

4. 株主還元

5. 補足資料

- ・TF2017指標レビュー
- ・制御国内海外売上高/利益率推移
- ・全社地域別売上高
- ・トピックス
- ・株価の状況

決算サマリー（対前年）

- ◆受注・売上 :主に円安の影響を受け、**増加**(事業譲渡/撤退影響 受注▲39億円 売上▲39億円)
 - ◆営業利益 :貸倒引当等21億円を費用計上したなかで、増収および円安効果等あり**増益**
 - ◆当期純利益 :特別利益58億円計上の一方、減損損失92億円計上等により**減益**
- (億円)

	FY16	FY17	差異	増減率	為替影響
受注高	3,907	4,003	+96	+2.5%	+117
売上高	3,914	4,066	+152	+3.9%	+117
営業利益	316	327	+11	+3.5%	+20
ROS(%)	8.1	8.0	▲0.1pt	-	-
経常利益	330	333	+3	+1.0%	+22
親会社株主に帰属する当期純利益	258	214	▲44	▲16.7%	+18
EPS(円)	96.44	80.27	▲16.17	▲16.8%	-
ROE(%)	10.4	8.1	▲2.3pt	-	-
為替レート 1米ドル=	108.95円	110.70円	+1.75円	-	-

決算サマリー（対予想）

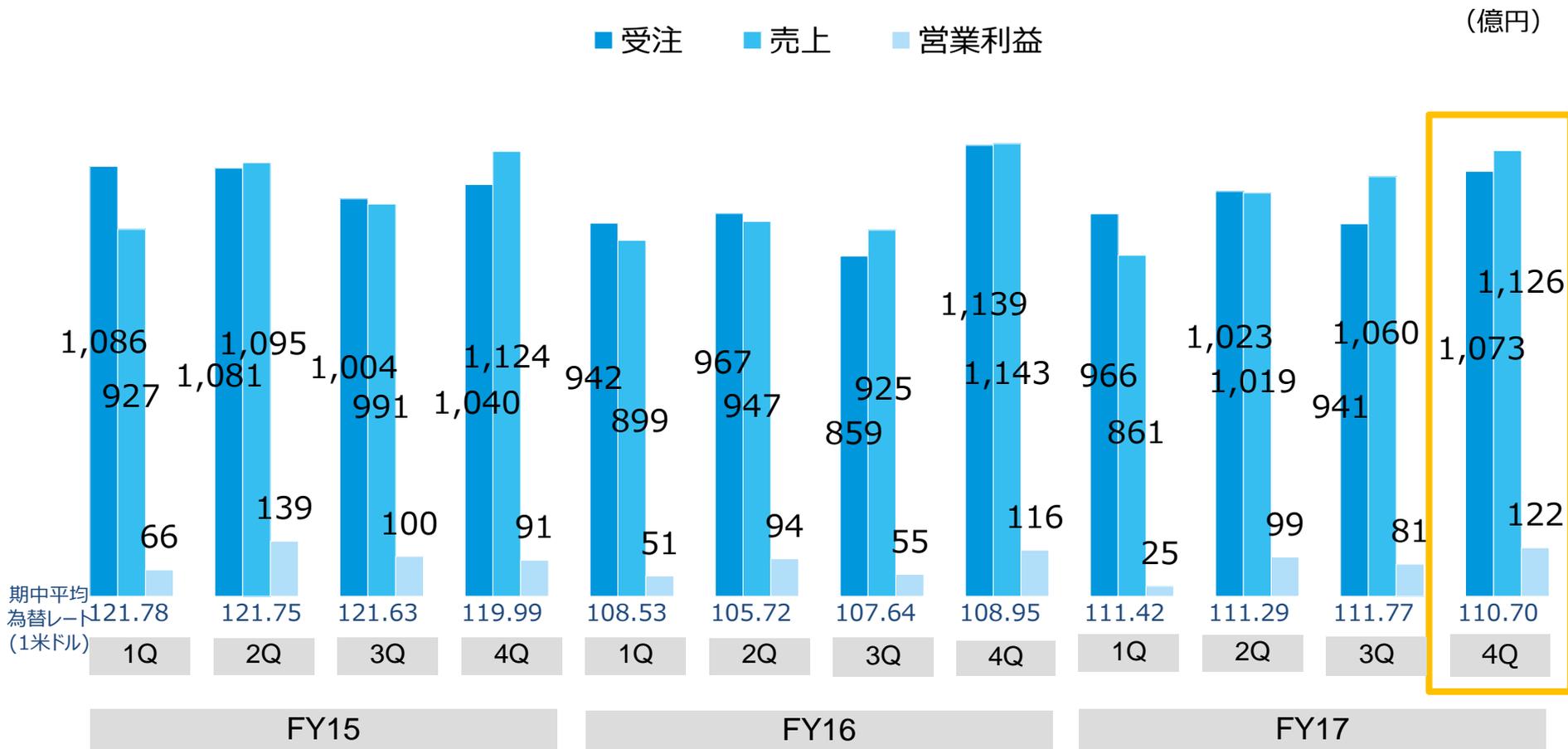
◆概ね想定通りに着地

(億円)

		FY17予想 (2/6)	FY17	差異
受	注 高	4,000	4,003	+3
売	上 高	4,000	4,066	+66
営	業 利 益	330	327	▲3
経	常 利 益	340	333	▲7
親会社株主に帰属する 当期純利益		200	214	+14
EPS(円)		74.84	80.27	+5.43
為 替 レ ー ト	1米ドル	110.00	110.70	+0.70円

四半期別 経営成績

◆売上高・営業利益は、国内制御事業を中心に2Q及び4Qに集中傾向



営業利益分析（対前年同期比）

(億円)

増収(実質)による粗利増
(為替影響、事業撤退影響を除く)

販管費増

- ・戦略投資費用 ▲5億円
(KBC等取得費用減+4億円を含む)
- ・コストダウン +1億円
- ・その他 ▲5億円

為替の影響

(円)

	FY16	FY17
USDドル	108.95	110.70
EUR	118.81	130.25

事業撤退影響・
その他

+32

▲4

▲9

▲7

▲21

+20

327

316

粗利率悪化

- ・採算悪化等 ▲22億円
(戦略ジョブ減+3億円を含む)
- ・コストダウン +23億円
- ・その他 ▲5億円

KBC貸倒
引当金等

FY16
営業利益

FY17
営業利益

営業外・特別損益

(億円)

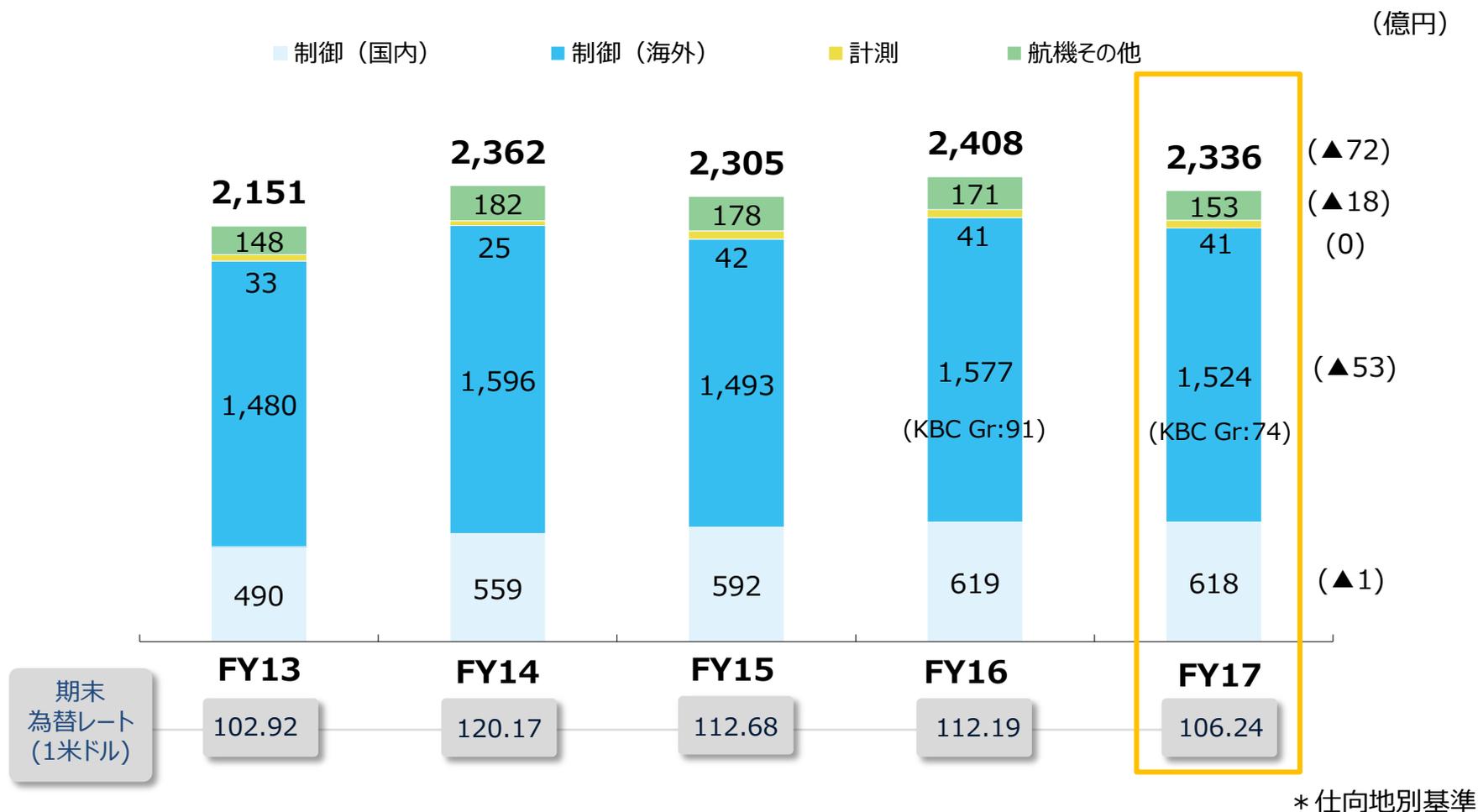
	FY16	FY17
営業利益	316	327
営業外収益	40	41
営業外費用	26	35
経常利益	330	333
特別利益	34	58
特別損失	9	98
税引前利益	355	294
法人税等	97	79
親会社株主に帰属する 当期純利益	258	214
(実効税率)	25.3%	22.6%

FY16:投資有価証券売却益 18億円
 関係会社株式売却益 9億円
 段階取得に係る差益 6億円

FY17:投資有価証券売却益 37億円
 固定資産売却益 21億円

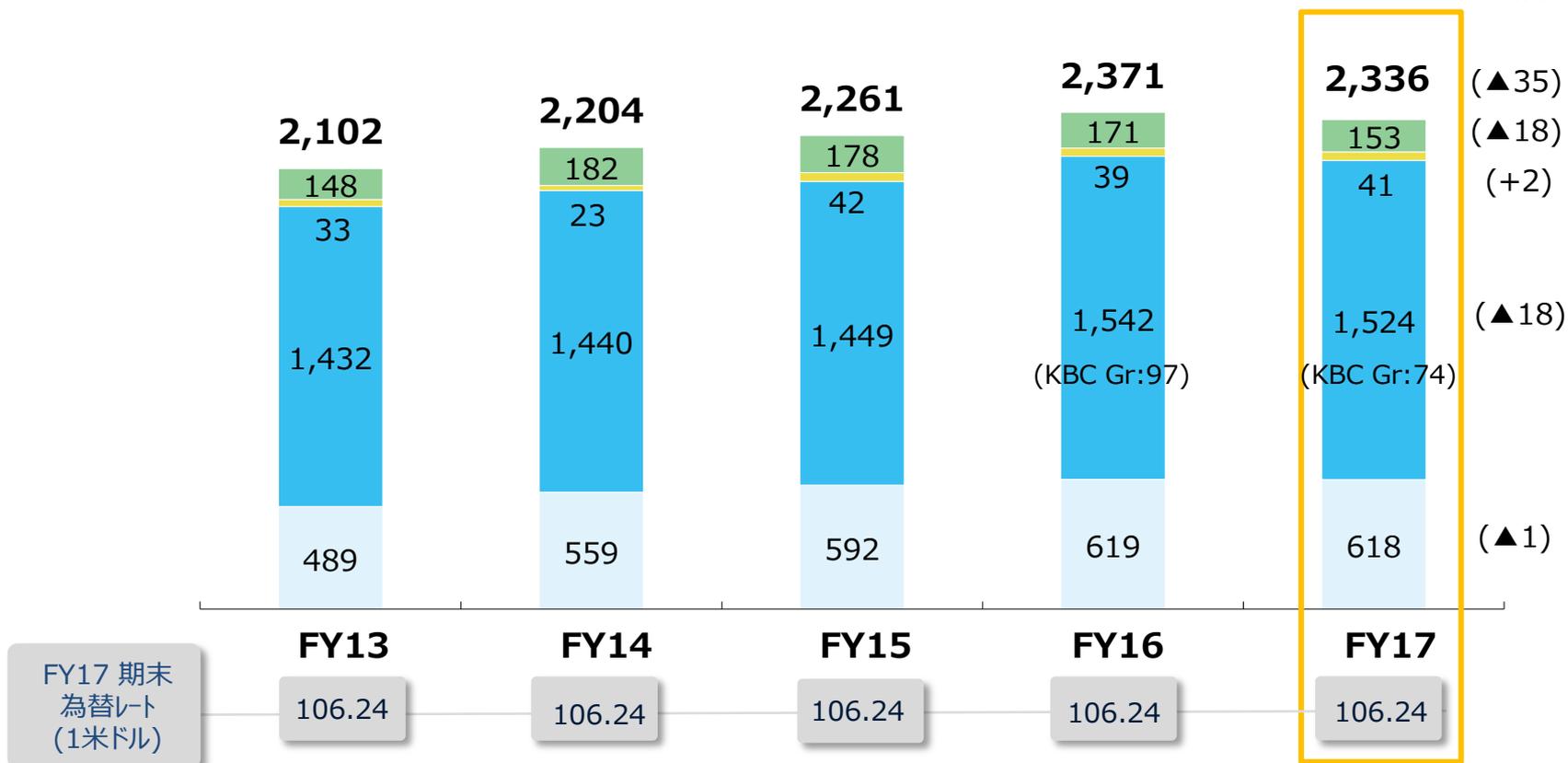
FY17:減損損失 92億円

セグメント別 受注残推移



(参考)セグメント別 受注残推移 *FY17 4Q期末為替レート換算

■ 制御（国内） ■ 制御（海外） ■ 計測 ■ 航機その他 (億円)

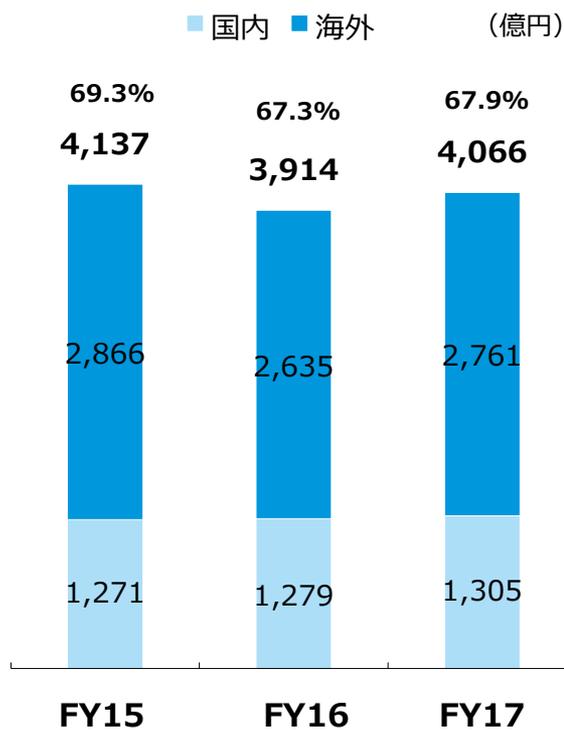


* 仕向地別基準

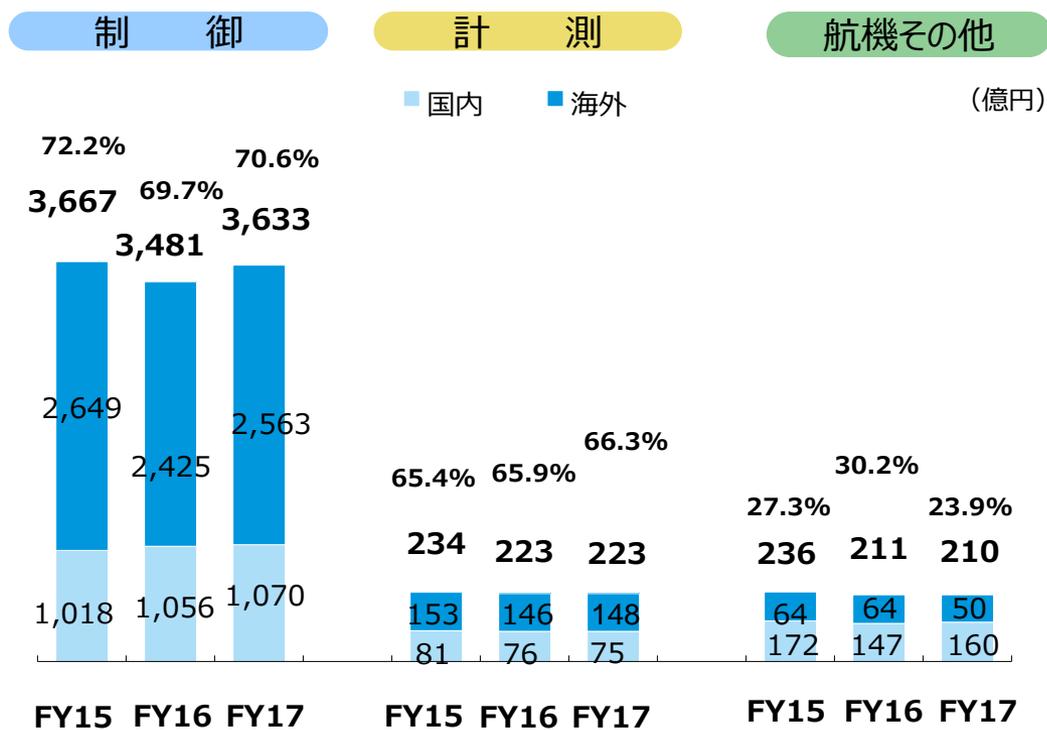
国内外売上高

◆円安および好調な中国の影響もあり、海外売上比率が上昇

全社



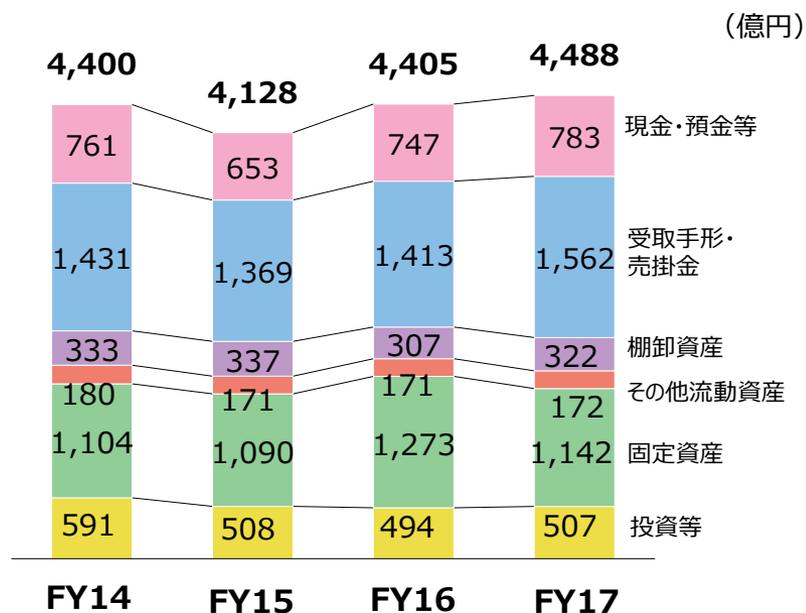
セグメント別



貸借対照表

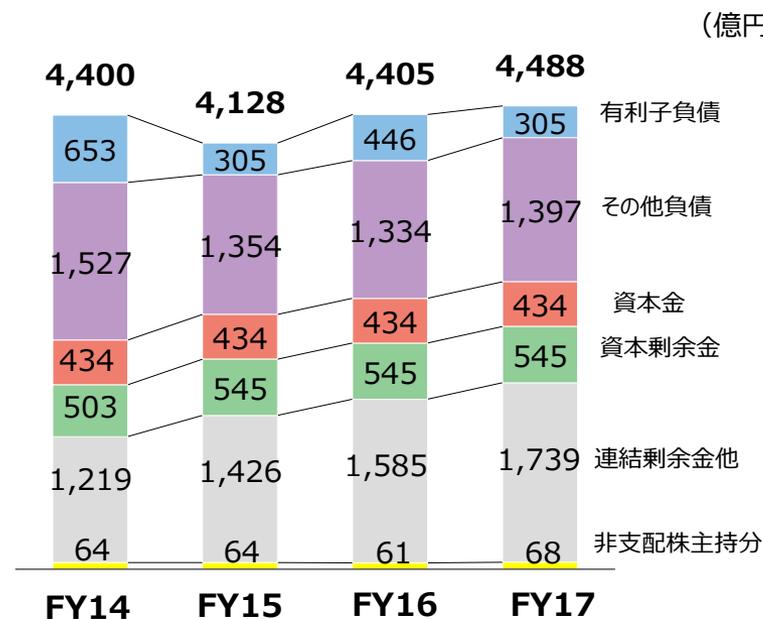
- ◆資産 減損損失の計上によりのれん等が減少したものの、受取手形、売掛金などが増加
- ◆負債 短期借入金などが減少
- ◆純資産 一株当たり純資産(BPS)は過去最高(1,017円)

資産



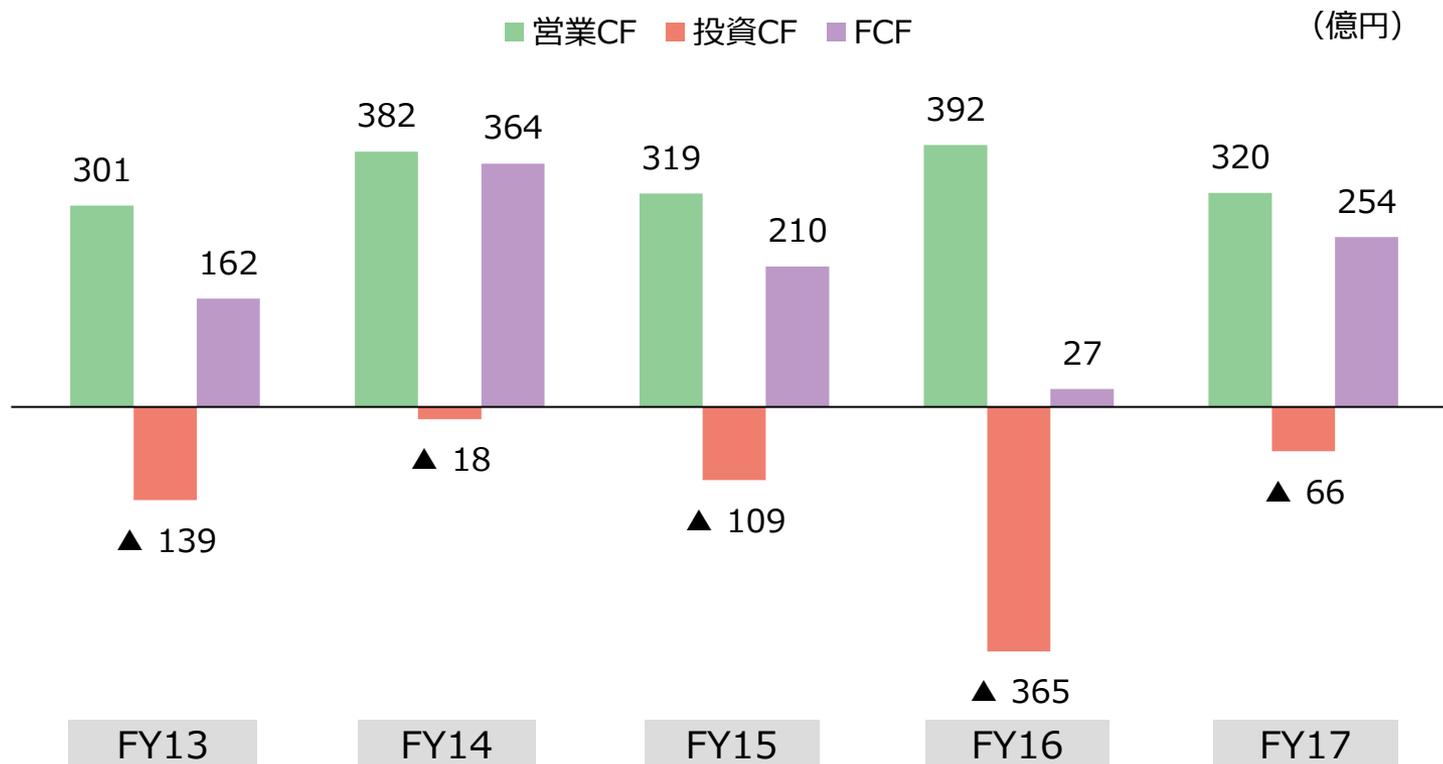
	FY14	FY15	FY16	FY17
総資本利益率 (ROA)	4.1%	7.1%	6.0%	4.8%
自己資本利益率 (ROE)	8.6%	13.2%	10.4%	8.1%
総資産回転率	0.97	0.96	0.92	0.91

負債・資本



	FY14	FY15	FY16	FY17
D/E レシオ	30.3%	12.7%	17.4%	11.2%
自己資本比率	49.0%	58.3%	58.2%	60.6%
一株当たり純資産 (BPS)	837円	901円	960円	1,017円

◆ 営業CF:3年累計で1,031億円



業績予想 (前年比)

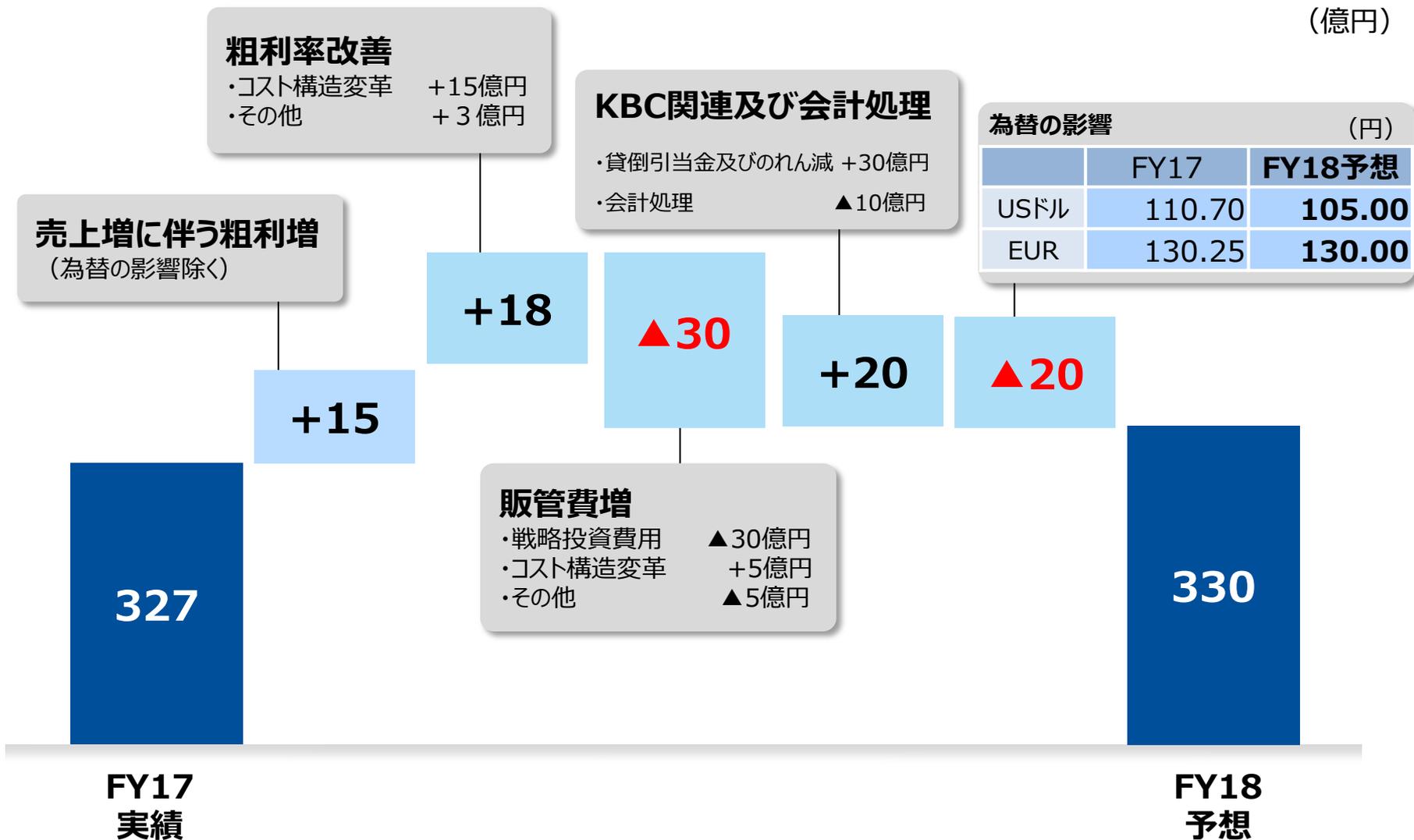
◆FY18 円高による減収予想だが、営業利益は増益見通し

(億円)

	FY16 実績(A)	FY17 実績(B)	FY18 予想(C)	前年比 (C-B)	伸長率 (C÷B-1)
受注高	3,907	4,003	4,100	+97	+2.4%
売上高	3,914	4,066	4,050	▲16	▲0.4%
営業利益	316	327	330	+3	+0.9%
ROS(%)	8.1	8.0	8.1	+0.1pt	—
経常利益	330	333	320	▲13	▲3.9%
税引前利益	355	294	320	+26	+8.8%
法人税等	97	79	105	+26	+32.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	258	214	215	+1	+0.5%
EPS(円)	96.44	80.27	80.46	+0.19	—
為替レート	1米ドル=	110.70円	105円	▲5.7円	—

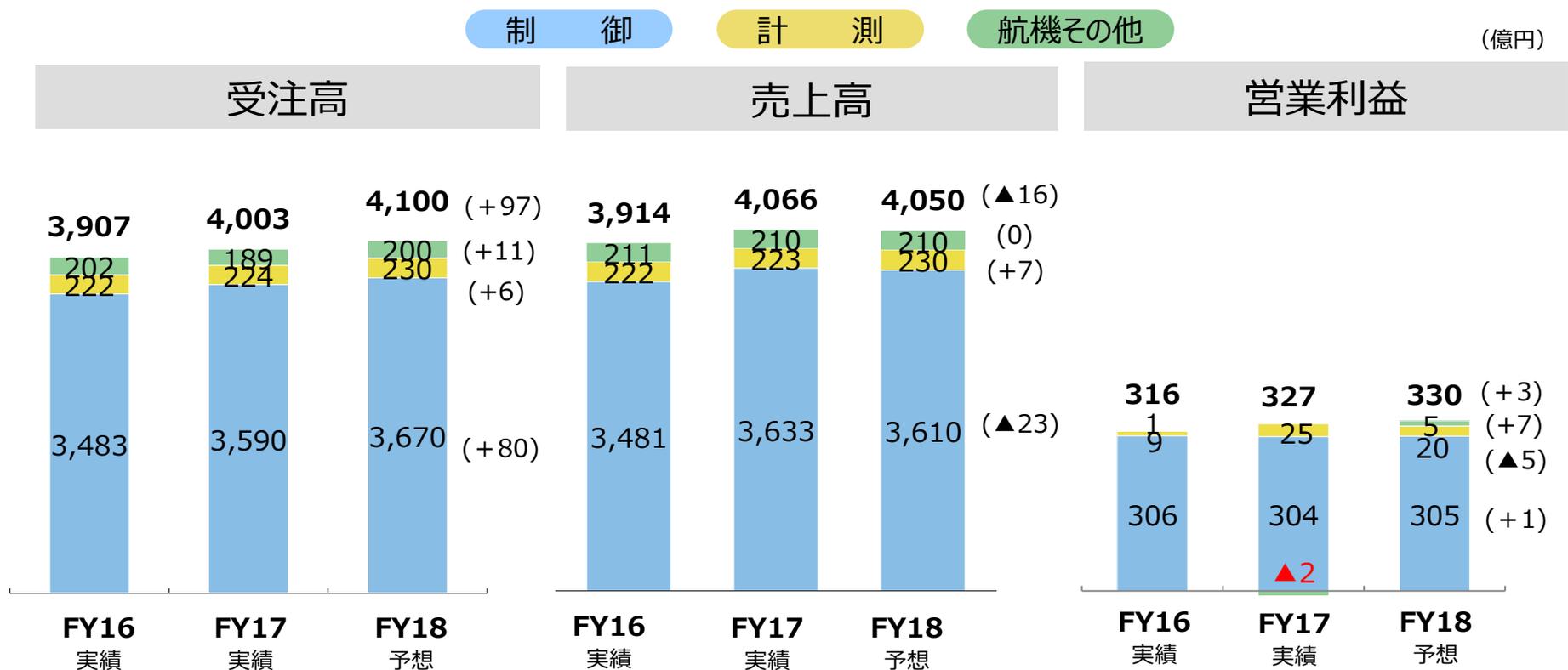
FY18営業利益増減要因

(億円)



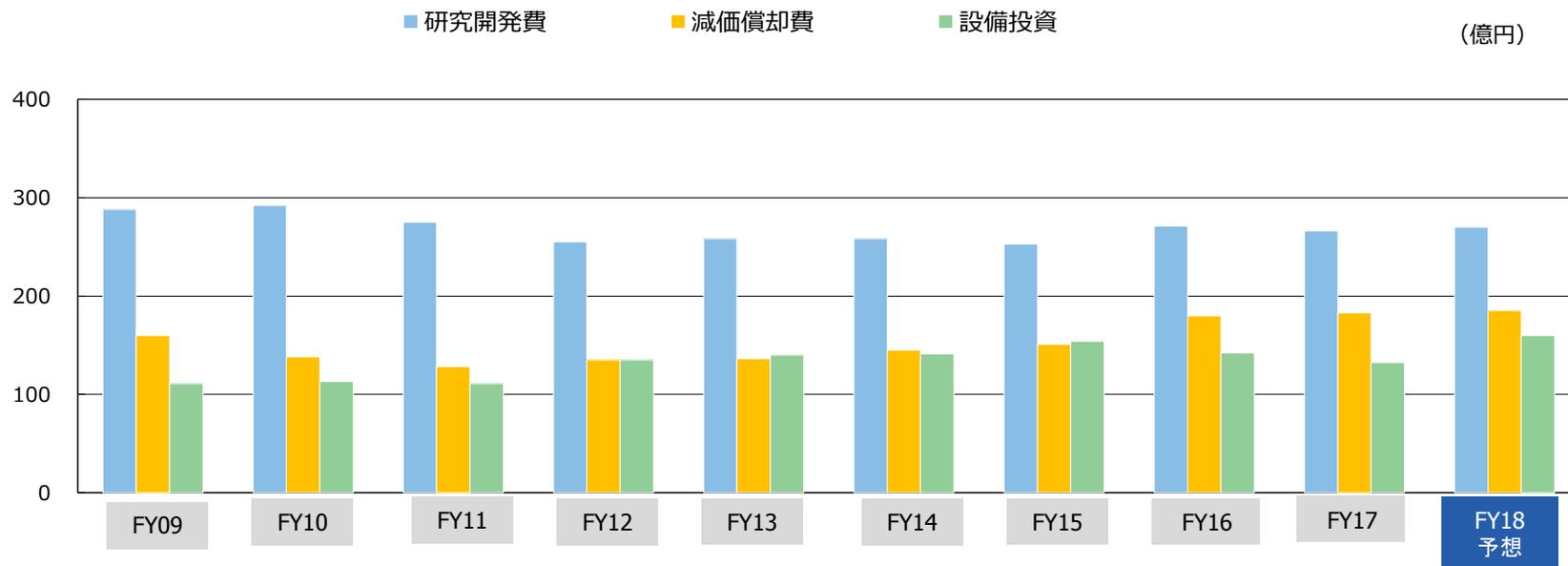
セグメント別 受注・売上・営業利益（予想）

- ◆制御事業 : 円高により減収予想だが、営業利益は**増益**の見通し
- ◆計測事業 : ほぼ前年並みの見通し
- ◆航機その他事業 : 受注、売上は前年並みだが売上構成の変化などにより増益の見通し



研究開発費・減価償却費・設備投資

◆FY18 設備投資は中期計画戦略投資を前提に微増見込み



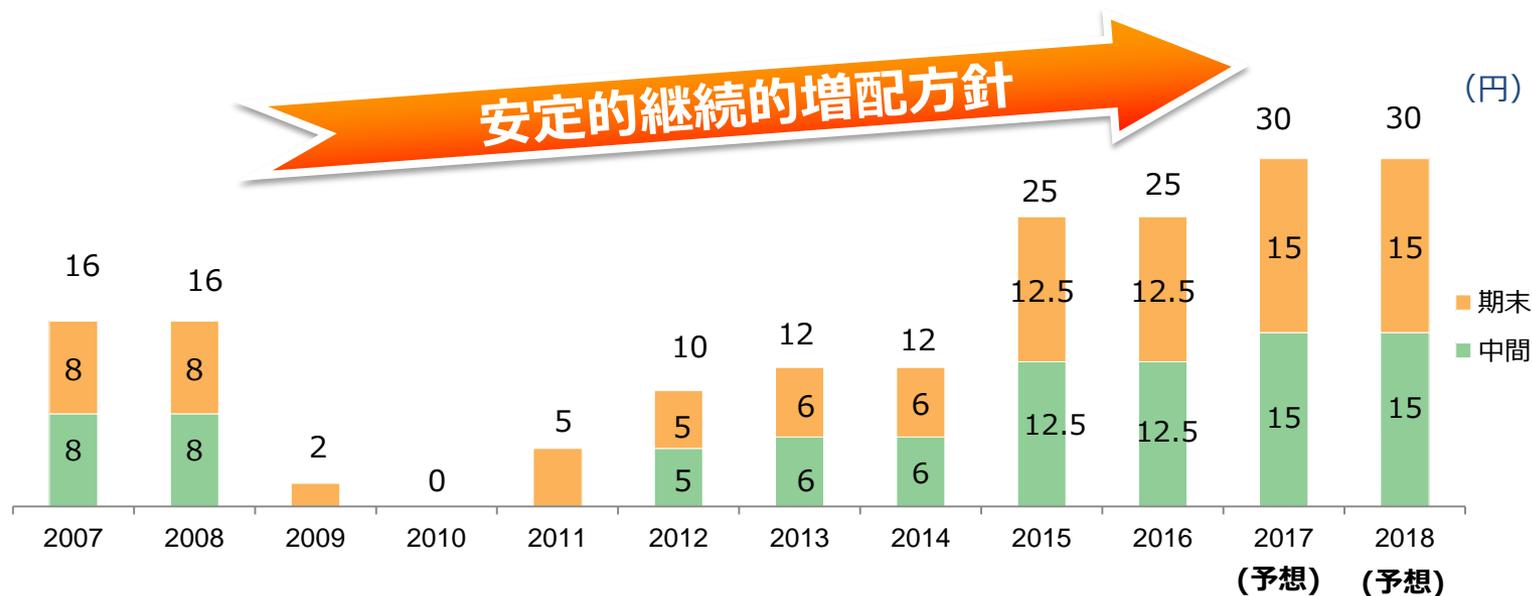
	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18 予想
研究開発費 (対売上高比率)	288 9.1%	292 9.0%	275 8.2%	255 7.3%	258 6.6%	258 6.4%	253 6.1%	271 6.9%	266 6.5%	270 6.7%
減価償却費 (対売上高比率)	160 5.1%	138 4.2%	128 3.8%	135 3.9%	136 3.5%	145 3.6%	151 3.6%	180 4.6%	183 4.5%	185 4.6%
設備投資 (対売上高比率)	111 3.5%	113 3.5%	111 3.3%	135 3.9%	140 3.6%	141 3.5%	154 3.7%	142 3.6%	132 3.3%	160 4.0%

株主還元(次期の配当方針を変更)

- ◆利益還元は経営の最重要施策の一つと認識し、安定的・継続的な増配を目指す
- ・連結配当性向30%を上回る配当水準の確保

※一時的要因での業績悪化時も、株主資本配当率(DOE)を考慮し、安定的な配当維持に努める

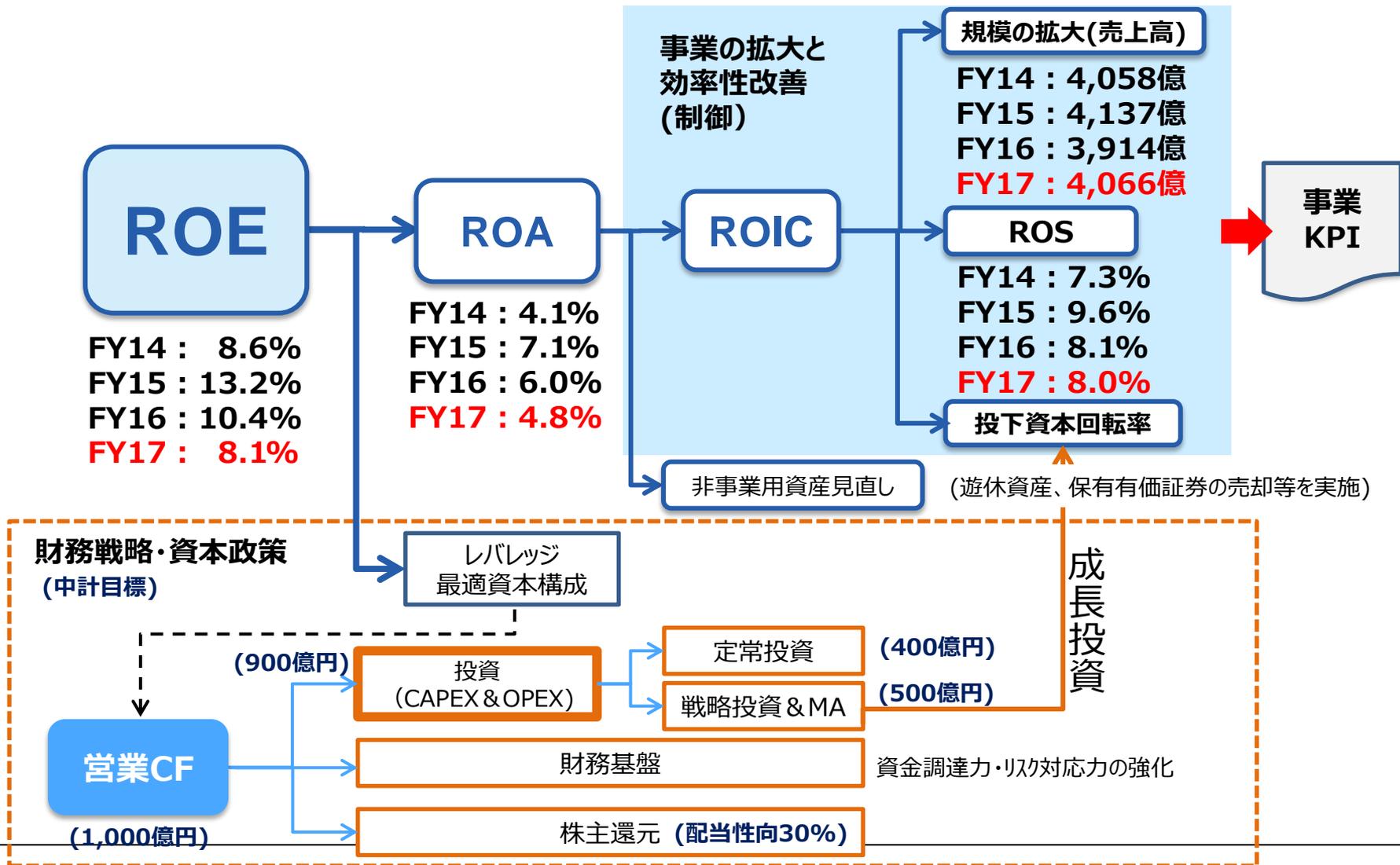
FY17 : 30円(配当性向37.4%)
FY18 : 30円(配当性向37.3%)



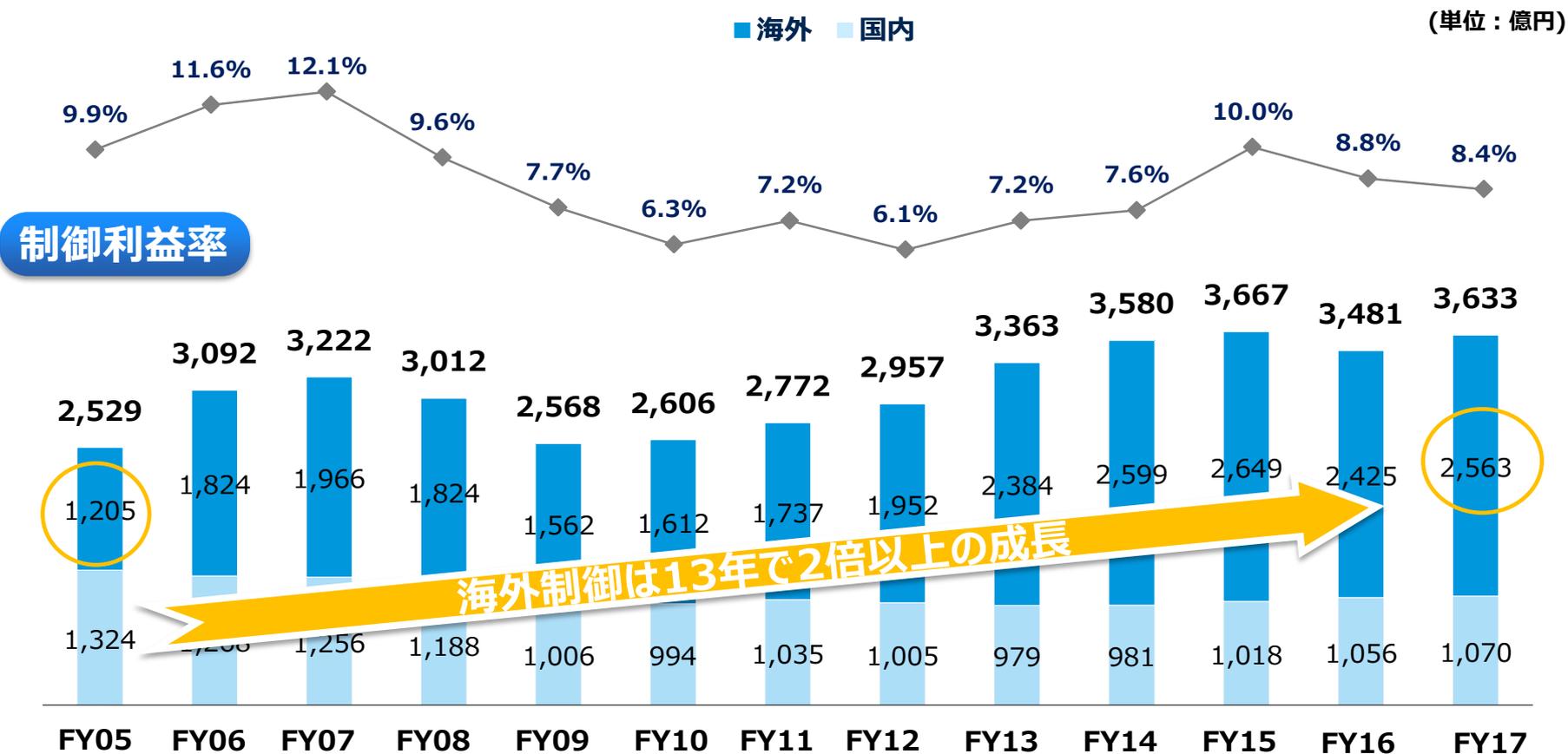
補足資料

- ・TF2017指標レビュー
- ・制御国内海外売上高/利益率推移
- ・全社地域別売上高
- ・トピックス
- ・株価の状況

補足：TF2017指標レビュー



補足：制御国内海外売上高/利益率推移

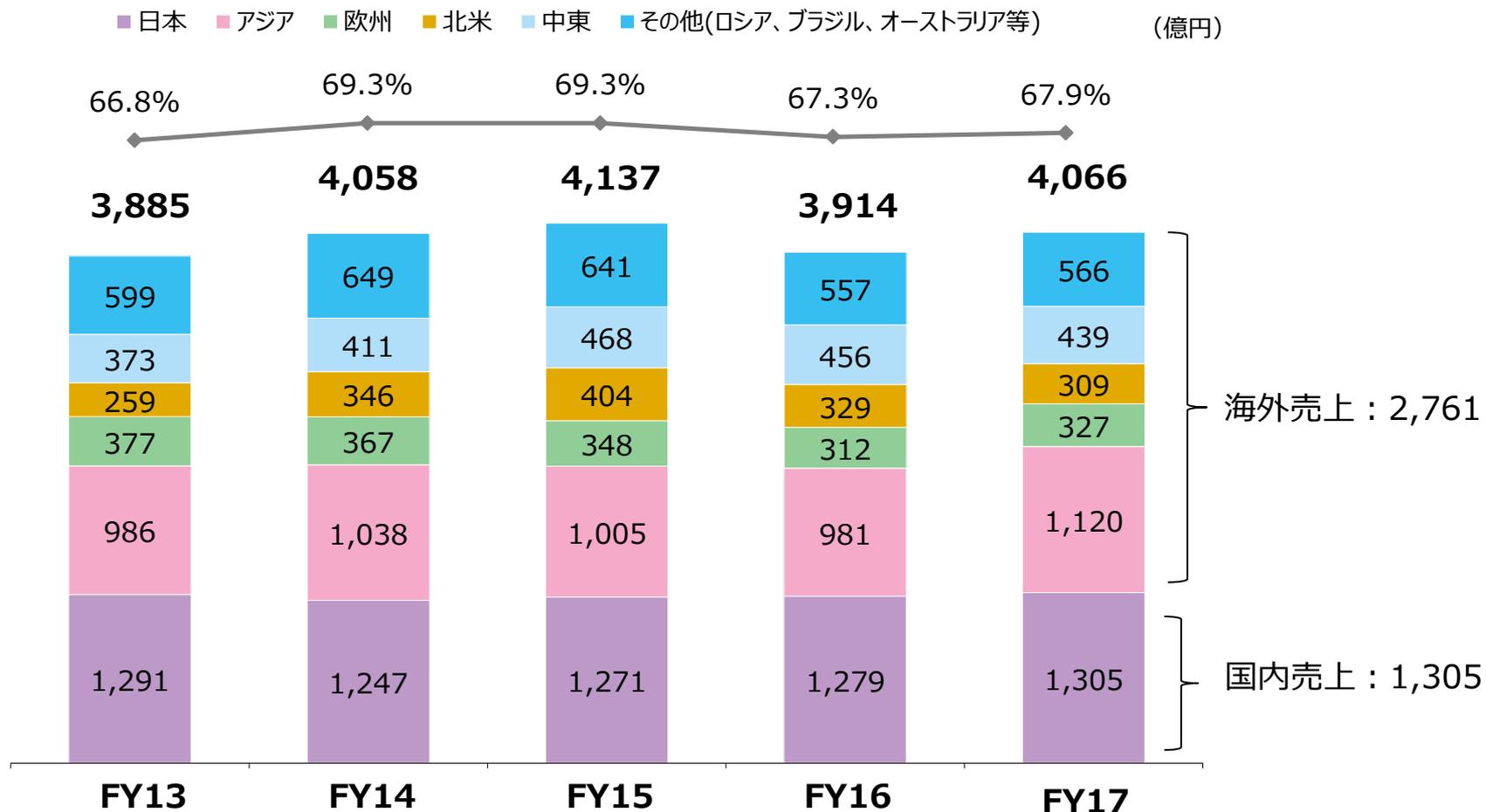


<期中平均為替レート>

	FY06	FY07	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17
USD/円	117.00	113.80	100.66	92.61	85.13	78.82	83.33	100.67	110.58	119.99	108.95	110.70

補足：全社地域別売上高

(決算短信 開示数字)



* 仕向地別基準

補足：トピックス (2/7～5/8)

2月

統合プラント運転管理パッケージ「Operations Management」を発売
クラウドベースの計装アセット情報管理支援サービス「Device Lifecycle Management」を開発

3月

顕微鏡画像を一元管理し、容易に検索や分類を行えるハイコンテンツデータ管理システム「CellLibrarian™」を開発・発売

横河計測が光スペクトラムアナライザ「AQ6360」を開発・発売

中国浙江省の大型石油化学プラント建設プロジェクト向けにプロセスガスクロマトグラフ「GC8000」190台を受注



ガスクロマトグラフ GC8000

取締役、監査役の候補者の決定および最高顧問、顧問および社友制度の廃止について

4月

統合機器管理ソフトウェアパッケージ「PRM® R4.01」を開発・発売

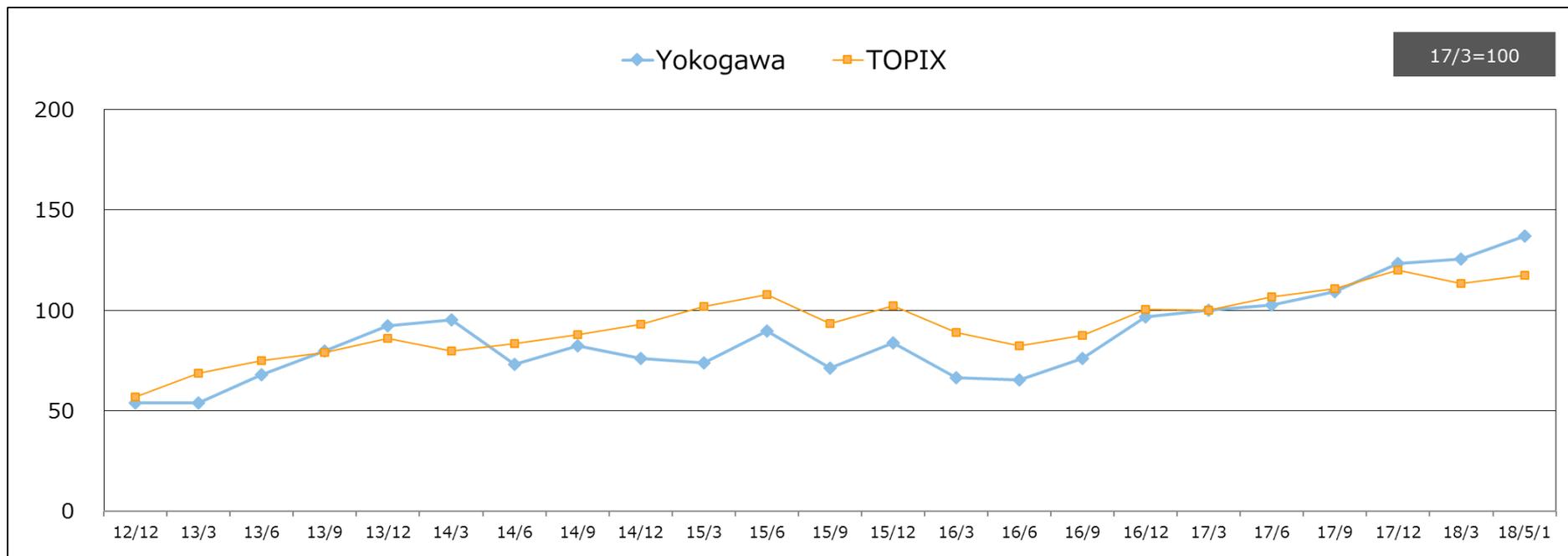
1細胞を観察する装置の開発・普及に向けた産学連携コンソーシアム結成

5月

新たな業績連動型株式報酬制度（パフォーマンス・シェア・ユニット制度）の導入（予定）

※日付は発表月です

補足：株価の状況



(円)

	12/12	13/3	13/6	13/9	13/12	14/3	14/6	14/9	14/12	15/3	15/6	15/9	15/12	16/3	16/6	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/5/1
Yokogawa	941	946	1,187	1,398	1,615	1,667	1,281	1,442	1,333	1,295	1,574	1,247	1,465	1,163	1,146	1,335	1,693	1,752	1,801	1,916	2,158	2,198	2,398
TOPIX	860	1,035	1,134	1,194	1,302	1,203	1,263	1,326	1,407	1,543	1,630	1,411	1,547	1,347	1,245	1,322	1,518	1,512	1,611	1,674	1,817	1,716	1,774

	12/12	13/3	13/6	13/9	13/12	14/3	14/6	14/9	14/12	15/3	15/6	15/9	15/12	16/3	16/6	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/5/1
Yokogawa	54	54	68	80	92	95	73	82	76	74	90	71	84	66	65	76	97	100	103	109	123	125	137
TOPIX	57	68	75	79	86	80	84	88	93	102	108	93	102	89	82	87	100	100	107	111	120	113	117

ご注意

本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

当社がこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用すること等を禁じます。

また、本資料には企業連結に係る暫定的な会計処理の確定に伴う過年度訴求修正を反映しておりません。(決算短信とは軽微な相違があります)

横河電機株式会社

財務・IR部 IR課

Email : Yokogawa_Electric_IR6841@cs.jp.yokogawa.com

TEL : 0422-52-6845

URL : <http://www.yokogawa.co.jp/cp/ir/index.htm>

Co-innovating tomorrow™

